



学力向上を図るため調査結果（概要）のお知らせ

今年度の調査結果をお知らせします。

本結果をもとに、授業を改善していくとともに、来年度に向けて、どの場面において今まで学習してきた内容を生かすことができるのかを考え、指導計画を作成していきます。

1 全国学力・学習状況調査 【対象：6学年】

実施日：令和7年4月17日（木）

（1）国語科【学習指導要領の領域の内容】 平均正答率（％）

	言葉の特徴 や使い方に 関する事項	情報の扱い 方に関する 事項	話すこと・聞 くこと	書くこと	読むこと	国語全体
本 校	84.1	66.7	77.5	76.5	65.5	75.0
東京都	77.9	66.9	69.9	72.4	61.0	70.0
全 国	76.9	63.1	66.3	69.5	57.5	66.8

概ね全ての領域の全平均正答率において、全国平均を上回りました。

「言葉の特徴や使い方にに関する事項」では、正答率で都平均を6.2ポイント、全国平均を7.2ポイント、「情報の扱い方に関する事項」では、全国平均を3.6ポイント上回りました。「話すこと・聞くこと」では、都平均を7.6ポイント、全国平均は11.2ポイント上回りました。「書くこと」では、都平均を4.1ポイント、全国平均を7ポイント上回りました。「読むこと」では、都平均を4.5ポイント、全国平均を8ポイント上回りました。

コミュニケーションを図る活動の中で、目的や意図に応じて、伝え合う内容を検討したり、自分の考えが伝わる表現を工夫したりして、留意点等や要点に気付き、日常生活においても生かせるように指導します。

（2）算数科【学習指導要領の領域の内容】 平均正答率（％）

	数と計算	図形	変化と関係	データの活用	算数全体
本 校	73.3	66.1	70.4	73.7	69.0
東京都	68.3	61.2	64.9	67.6	64.0
全 国	62.3	56.2	57.5	62.6	58.0

全ての領域の全平均正答率において、都平均、全国平均を上回りました。

「数と計算」領域では、都平均を5ポイント、全国平均を11ポイント、「図形」領域では、都平均を4.9ポイント、全国平均を9.9ポイント上回りました。さらに、「変化と関係」領域では、都平均を5.5ポイント、全国平均を12.9ポイント、「データの活用」領域では、都平均を6.1ポイント、全国平均では11.1ポイント上回りました。

折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて説明ができるよう指導を続けます。

(3) 理科【学習指導要領の領域の内容】 平均正答率 (%)

	「エネルギー」 を柱とする領域	「粒子」を柱 とする領域	「生命」を柱 とする領域	「地球」を柱 とする領域	理科全体
本 校	5 6 . 2	5 6 . 7	6 1 . 5	7 5 . 5	6 6 . 0
東京都	4 9 . 9	5 3 . 7	5 4 . 1	6 9 . 1	6 0 . 0
全 国	4 6 . 7	5 1 . 4	5 2 . 0	6 6 . 7	5 7 . 1

全ての領域の全平均正答率において、都平均、全国平均を上回りました。

「エネルギー」領域では、都平均を6.3ポイント、全国平均を9.5ポイント、「粒子」領域では、都平均を3ポイント、全国平均を5.3ポイント上回りました。さらに、「生命」領域では、都平均を7.4ポイント、全国平均を9.5ポイント、「地球」領域では、都平均を6.4ポイント、全国平均では8.8ポイント上回りました。

引き続き、3 学年からの観察や実験等の体験を通して、理科の見方や考え方を広げ深められるように指導していきます。また、予想や結果の考察の思考の時間を確保し、毎回の学習を主体的に取り組めるようにしていきます。

(4) 意識調査（調査結果の一部）

学習面・生活面の意識調査も行いました。その結果から本校の教育活動の重点に係るものを抜粋してお知らせします。

○ 自分には、よいところがあると思いますか。

	①当てはまる	② どちらかといえば 当てはまる	③どちらかといえば 当てはまらない	④当てはまらない
開三小	4 8 . 4	4 5 . 2	3 . 2	3 . 2

本校では、児童一人一人が自分のよさに気付き、教師や友達が認め、児童が自信と誇りをもつことにつながる指導をしています。「当てはまる」は前年度よりも8.4ポイント低くなったものの、全国平均よりも高く、継続的な指導の成果が結果に表れています。児童は、教育活動を通して、他者と関わりをもち、新たな発見が生まれ、さらにその発見に磨きをかけることで、自己肯定感を高めています。今後も教師と児童が向き合う時間を確保し、児童一人一人を褒め、育てていきます。

○ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

	①	②	③	④
開三小	7 3 . 4	2 2 . 6	3 . 2	0 . 0

○ 人が困っているときは、進んで助けていますか。

	①	②	③	④
開三小	4 9 . 2	4 7 . 6	3 . 2	0 . 0

前年度調査と同程度ですが、「当てはまらない」と答えた児童が0人と、人の役に立ちたい気持ちが育っていることが分かりました。また、「人が困っているときは、進んで助けていますか。」という質問に対しても「当てはまらない」と答えた児童が0人でした。相手の気持ちや思いをよく考え、行動に表そうとする児童が多いということは、普段の学校生活からよく考えて行動することの大切さが指導として定着していることがうかがえます。

- 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか。

	①	②	③	④	⑤
開三小	33. 1	40. 3	19. 4	4. 8	2. 4

- 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。

	①	②	③	④
開三小	44. 4	45. 2	8. 9	0. 8

- 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていますか。

	①	②	③	④
開三小	36. 3	46. 0	15. 3	1. 6

児童一人一人が自分事で課題をもち、その解決に向けて取り組んできたことが分かります。今後も、各教科などでの学びをつなぎ合わせながら、自分の考えを伝える力を高めていきます。また、資料をまとめたり、様々な意見や考えを比較したり、自分の考えを視覚化したりする学習ツールとしてタブレット端末をさらに有効活用する指導を行います。

- 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

	①	②	③	④
開三小	39. 5	49. 2	10. 5	0. 8

児童一人一人が学びの過程や結果を振り返って書いたり、学習のまとめを自分の言葉で表現したりすることを行っています。今後も継続して取り組みます。

- 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、自分のペースで理解しながら学習を進めることができていますか。

	①	②	③	④
開三小	34. 7	46. 0	17. 7	1. 6

タブレット端末の活用が各教科で有効に活用され、学習を進めることができているようにつながります。情報の収集や、調べたことを整理したり分析したりする場面における活用も進んでいます。タブレットをより効果的に使える技能について、今後計画を練り直し、一人一人がより自分に合った学習に活用できるようにしていきます。